



第98号  
発行  
2011年  
2月15日  
本郷ふじやま公園  
運営委員会

ホームページで本紙のカラー版をご覧ください

## 古民家は桃の節句の雛飾り

古民家の雛祭りは2月3日から座敷一杯にお雛様が飾られ、家の中は華やかな雰囲気にあふれています。

雛祭りは江戸時代中期ころまで「雛遊び」とよばれ、神を迎えて祀(まつ)り、女兒の成長を願い、災厄を祓う祭りでした。元禄年間(1688~1704)のころから「雛祭」という言葉が使われるようになり、雛祭の流行から雛人形と一緒に調度品なども飾るようになりました。古民家にあるたくさんのお雛様の中には嘉永年間(1848~1854)から代々引き継がれてきたものもあります。

内裏雛をはじめとして人形の配置にきまりごとはないようです。日本では古来「左」が上の位でした。明治天皇の時代まではその伝統にしたがって天皇である帝は左(向かって右)に立ちました。ちなみに飾り物の「左近の桜、右近の橘」での桜は天皇の左側です。しかし明治の文明開化で日本も洋式化し、昭和天皇の即位式から西洋式に倣い天皇が右に立ちました。以来それをまねて男雛を右(向かって左)に配置することが多くなりました。



江戸時代の内裏雛



### 公園ウォッチング



立春も過ぎ暖かさを感じさせる日差しのなか紅白の梅が見ごろを迎え、働き者の蜂がもう蜜を集めようと飛び交っている。吹く風も心なしに優しく、甘い梅の香りが辺り一面に漂っている。梅の名所といえば各地の天満宮を思い起こすが、菅原道真が大宰府へ左遷された時に“東風吹かば匂いおこせよ梅の花・・・”と詠ったのはもう1200年前のことになる。以来天神様は学問の神様として祀られてきた。

今まさに入学試験が最盛期。最近では“落ちない、滑らない”などの言葉に引っ掛けた験担ぎのお菓子も人気だが、何といても困ったときは神頼み。天神様も相変わらず合格祈願の受験生で賑わっているようだ。

## 古民家で防火訓練

1月26日(水)ふじやま公園古民家において文化財防火デーにちなんで防火訓練が行われました。囲炉裏付近から出火と想定し、火災報知機発報、確認、来園者へ伝達、119番通報、初期消火、避難誘導、消火栓ホース放水、消防車到着、けが人救助、消防車放水、放水銃放水、ドレンチャー作動など訓練を行いました。消防署からの講評がありその後、消火器を実際に操作しました。消防署からはポンプ車2台、指揮車1台、隊員18名が駆け付け、公園スタッフ13名が参加し、来園者、近隣の人達など30余名の皆さんが見守る熱心な訓練でした。防火の大切さを認識し、防消火機器の再確認を行い、有意義なひと時でした。



## 七草粥と正月子ども遊び

1月9日(日)古民家で七草粥の提供(1杯100円)と正月の子ども遊び道具を準備し楽しんでもらいました。七草粥は七草ならぬ季節の野菜数種と焼いた餅が入っていて好評でした。予定の100食がすぐに売切れ、急遽30食ほど追加しました。主屋板の間や廊下で家族和気あいあいと味わっていました。子ども遊びは穏やかな天気恵まれ室内遊びより屋外遊びが好まれました。コマ回しは勿論、連凧が飾られた中庭での羽根突きが大人にも子どもにも人気でした。



### 『いろいろ辺雑記』から(原文のまま)

今日、いろいろでお湯をわかしていました。お父さんとお母さんのおみやげに、竹のお箸をあげます。これからも、妹と、ちょくちょくここにきたいです。和風が好きな私にはもってこいの場所です。ここは、色々な香りがして、とても落ち着く場所です。



## 内蔵の宝 瓢箪



原産地のアフリカから食用や加工材料として全世界に広まったと考えられていて、上下が丸く真ん中がくびれた形のほか大小さまざまな品種があります。

瓢箪はかつて、水筒、酒器、調味料入れなどの容器に加工されていました。微細な穴があるために水が漏れ出し、気化熱が奪われるため中身が気温より低く保たれます。

内蔵には変わった形の二つの瓢箪があります。これらは何に使われたか定かではありませんが想像が膨らみます。

利便性の高さからか、縁起物とされ羽柴秀吉など多くの武将の旗印や馬印などの意匠として用いられました。志賀直哉の小説「清兵衛と瓢箪」でもおなじみですね。また大井町では毎年8月第一土、日曜日に「大井町よさこいひょうたん祭」が開かれて賑わいます。



## こんなところに江戸時代の古銭が

暮れも押し詰まった師走のある日、長屋門の敷居の上で鈍い緑色に光る古銭を公園スタッフが発見しました。表面を覆っていた緑錆を磨いてみると出てきたのは寛永通宝の文字。物の本によると、寛永通宝は江戸の初期から幕末ころまで鑄造されており、4文と1文のものがあつたようです。この度発見されたものは10円硬貨と大体同じで直径2.3センチと小さいもので1文銭と思われます。



「時そば」という落語のなかでは、かけそば一杯が16文で商われており、今の感覚では1文は20円程度となるのでしょうか。銭形平次が投げ銭として使っていたのも寛永通宝だといわれています。寛永通宝は昭和28年末まで法的に通用しました。

なぜ落ちていたのかその理由については、スタッフの間でも、“誰かがいたずらで置いた”、“神田の平次に対抗してここ本郷村でも目明しが投げていた”、“棟上式で餅や貨幣を撒いていたのがどこかに挟まっていた”など諸説紛々。はっきりわかりません。皆さんはどの説を支持しますか？



### コブシ モクレン科

昔の人はコブシの開花時期をみて農作業の判断をしました。山に春を呼ぶ植物でもあります。2月末頃から蕾が膨らみ新葉が出るより早く小枝の先に大きな白色の花(約10cm)が香気をおびて木いっぱいにつけます。

花弁は6枚で花の下部に1枚の若葉が付くことで他の似ている(タムシバ、ハモクレン)花と区別ができます。名前の由来は実の形、又は蕾が開く直前の形が子供の握り拳に似ているという説。春のつぼみから花、更に秋の実の形も必見です。



## 平成23年3月ボランティア活動予定

部会・事項	日程	部会・事項	日程
事務局会議	4日(金)	古民家歴史部会 部会	13日(日)
農芸部会 部会	14日(月)	古文書解読勉強会	6日(日)27日(日)
作業	月曜日 木曜日	歴史探訪	3日(木)
里山部会 作業	12日(土) 19日(土) 27日(日)	囲炉裏守 囲炉裏焚き	6日(日)10日(木) 20日(日)
工作棟部会 部会	30日(水)	クリーンアップ	1日(火)15日(火)
子ども工作準備	適時	ふじやまだより編集会議	5日(土)
ホームページ制作打合せ	2月27日(日)	印刷	12日(土)

登録ボランティアを募集しています。公園事務所(TEL 896-0590)へご連絡ください。

## 楽しい教室のお知らせ

奮ってご参加ください。お待ちしております。

教室名	日 時	内容	参加費	応募期限
作って遊ぼう～ 子ども工作の日	3月20日(日) 10時～12時 13時～15時	竹を使ってパタパタ板返しを作ります	無料	当日受付 先着各12名
木版画教室 (全4回)	4月2日(土)13時～16時 5月7日(土) 同上 6月4日(土) 同上 7月2日(土) 同上	初心者でも親切に指導します。 道具は公園備え付けのものを使用します	300円	3月25日(金)
植物画教室 (全4回)	4月4日(月)13時～16時 5月2日(月) 同上 6月6日(月) 同上 7月4日(月) 同上	生涯楽しめる趣味を身につけませんか	無料	3月28日(月)
押し絵 (全2回)	4月5日(火)13時～16時 4月12日(火) 同上	元気に「馬とび」をする男の子を作ります	1,500円	3月25日(金)
篆刻教室 (全3回)	4月10日(日)13時～15時 5月8日(日) 同上 6月5日(日) 同上	誰でもできる篆刻	500円	3月12日(土)
4月分初心者 茶道体験教室	4月16日(土)13時～16時	古民家で茶道を楽しんでみませんか。平服でお気軽にお越しください 男性の方もどうぞ	500円	3月28日(月) 10名
絵手紙もどき (全2回)	4月19日(火)13時～15時 5月17日(火) 同上	絵手紙もどき へたでもいい 気心を送ろう	無料	3月31日(木) 10名

(1)持参品：返信はがきで連絡します。(2)定員：12名。応募者多数のときは抽選

(3)応募要領：往復はがきに、教室名、氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号を書いて  
応募期限までに本郷ふじやま公園へ

・・・お知らせ・・・

### 本郷ふじやま公園のお花見

日時：4月3日(日)10時～13時

雨天中止

山桜の季節を迎え趣向をこらしたお花見を行います

演芸：昇龍の和太鼓、居合い型披露、獅子舞、お囃子などがあります

うぐいす笛など手づくりが楽しめます

甘酒の無料提供(先着150名)

おはぎ、玉こんにゃく、呈茶、焼きしいたけ、梅干し、竹炭などは有料です

1月ふじやま公園来園者数 2,080名

累計 20,286名

・開館時間：	9:00～17:00	・入館料：	無料
・休館日：	3月2日(水)		
・クリーンアップ：	3月1日(火) 3月15日(火)	10時～11時	

### ふじやま公園運営委員会

〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1-20 TEL: 896-0590 FAX: 896-0593

「ふじやまだより」に対するご意見やご感想を電話、FAXでお気軽にどうぞ